

# 就労者の口腔保健行動

## 定期歯科検診を受診しない理由等

- 第3次産業の就労者を対象とした口腔保健行動に関する調査を行った研究では、定期歯科検診受診について、「検診有群」が28.3%、「検診無群」が71.2%と、国民健康・栄養調査よりも低い結果となっている。
- 「検診無群」で、定期歯科検診を受診しない理由は「時間がない」が半数以上を占め、次が「必要性が不明」であった。

### ■ 調査方法

大阪府堺市西区に所在する第3次産業（中小企業や個人商店）で就労する者647名にアンケート調査を実施、378名から回収。

【対象者の年齢構成】

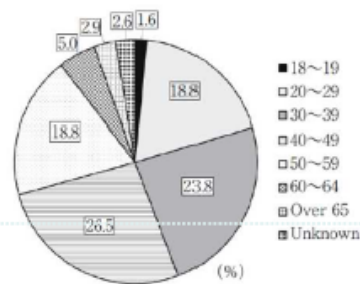


Fig. 3 Age ratio

【対象者の業種の割合】

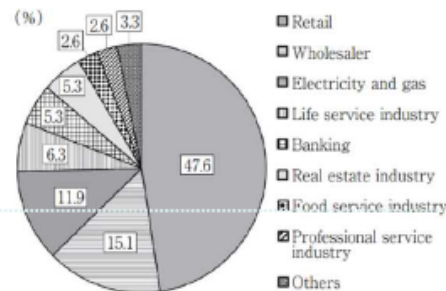


Fig. 4 Industry type ratio

### ■ 結果：定期歯科検診の受診状況

- ・ 検診有群：107名（28.3%、男性：47名、女性：59名、性別未記入：1名）
- ・ 検診無群：269名（71.2%、男性：169名、女性：99名、性別未記入：1名）

### ■ 結果：定期歯科検診を受診しない理由

**Table 1** The reason not to receive regular dental examination in the non-dental examination group

	Total (n=268)	Male (n=169)	Female (n=99)
No time	155 (57.8%)	101 (54.8%)	54 (20.1%)
No necessity	40 (14.9%)	25 (9.3%)	15 (5.6%)
High cost	39 (14.6%)	22 (8.2%)	17 (6.3%)
No family doctor	17 (6.3%)	7 (2.6%)	10 (3.7%)
Others	29 (10.8%)	11 (4.1%)	18 (6.7%)

(出典：第3次産業労働者の口腔保健行動と意識：志倉ら、日歯保存誌63(5)：385~395,2020)

令和6年度当初予算案 3.7億円（3.4億円） ※（）内は前年度当初予算額

## 1 事業の目的

- 健康で質の高い生活を営む上で、口腔の健康の保持・増進が重要な役割を果たしていることから、定期的な歯科健診の機会・歯科診療の受診を通じて、生涯を通じた歯・口腔の健康を実現していくことが必要である。
- 「骨太の方針2023」においても、「生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）に向けた取組の推進」について記載された。
- 成人期以降、歯周病等の罹患率が高い一方、歯科健診の受診率が低く、職域を含めた**歯科健診の充実の必要性**が指摘されている。
- 今後、更なる歯科健診の普及を図っていくには、**歯科健診の効果を検証**し、歯科健診の有効性について普及啓発を行う必要がある。

現行	乳幼児期	学齢期	20代・30代	40～74歳	75歳以上
歯科健診	乳幼児歯科健診	学校歯科健診	塩酸・硫酸・硝酸等を取り扱う労働者に対する定期健診		
				40、50、60、70歳 歯周疾患検診	後期高齢者医療の被保険者に対する歯科健診 ※下線部は実施が義務

就労世代の歯科口腔保健の推進に向け、効果的な歯科健診・受診勧奨の方法等について検討を行う。

就労世代の歯科健（検）診推進に向け、歯科健診の有効性について、レセプトデータ等を活用し、必要な検証を行う。

## 2 事業の概要・スキーム、実施主体

### 事業概要

#### I 歯科健診や受診勧奨等の実施の支援等を行うモデル事業

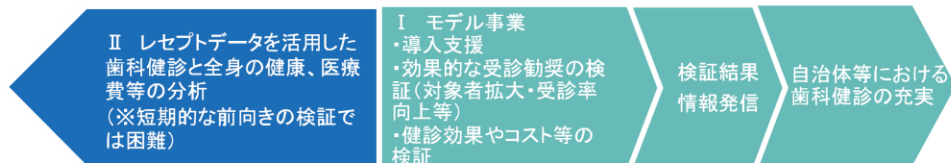
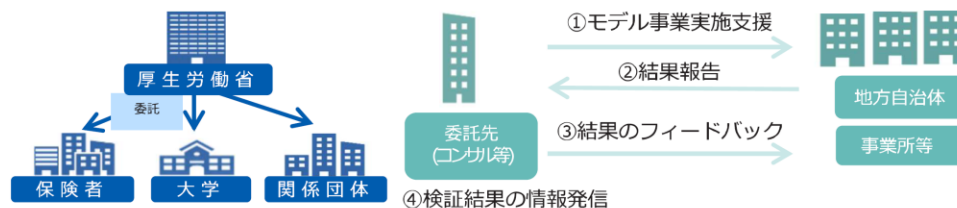
- 歯科健診を実施していない事業所等や、歯周疾患検診をはじめとした歯科健診を実施していない地方自治体（対象者の拡大や受診率向上に向けた取組を含む）を支援。
- モデル事業の結果について、効果・コスト・実施体制等を、持続可能性も含めて検証するとともに、検証結果について情報発信を実施。

#### II レセプトデータを活用した評価分析事業（新規）

- 歯科健診の有効性（口腔と全身の健康の関係、医療費適正化効果等）について、Iでは検証困難な中長期的なレセプトデータ等を活用した検証を行う。

【実施主体：株式会社 等】

【事業実績】・検討委員会及び作業部会の開催回数 元年度14回、2年度9回、3年度7回、4年度5回



#### 【効果的な受診勧奨の例】

- ・簡易検査キット等を活用した歯科健診・受診勧奨
- ・レセプト情報を活用した歯科健診等の受診勧奨 等

# (厚労省委託事業) 就労世代の歯科健康診査推進事業

## 株式会社NTTデータ 経営研究所が受託

歯科口腔保健の取り組みについて、こんなお悩みありませんか？

歯科保健に関する  
予算の確保が難しい

歯科保健のための人員と  
時間を割けない

歯科保健は従業員・被  
保険者の関心が薄く参  
加率の向上が課題

若い社員は歯周病は  
無関係と感じていそう

健康施策はやりつくした  
新しいテーマがほしい



© 2022 NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING INC. | NTT DATA

### 目的

本事業を通じ、就労世代を対象とした効果的かつ効率的な歯科健診等の実施のあり方を検証する

### 背景課題

- **受診機会の拡大の必要性**
  - ✓ 法定健診等がない**就労世代に対する歯科健診の取組み**が重要。
  - ✓ 多忙な就労世代の対象者が受診しやすいように、**簡易検査キットの活用等も含めた歯科健診のスキームの構築**の検討等が必要
- **歯科健診受診後の歯科医療機関受診への動機付けの必要性**
  - ✓ 受診率の向上に向けて歯科口腔保健に関する**行動変容等に関するより効果的な歯科保健指導の検討**が必要

### 本事業のポイント

- 本事業実施に係る**費用は全額国（NTTデータ）が負担。**
- データ分析や事業実施に係る**作業もほぼNTTデータが実施。**
- 対象は、自治体及び企業・保険者

## 実施の概要

本調査研究は、自治体におけるモデル事業として3パターン、職域におけるモデル事業として3パターンを実施した。モデル事業の実施フィールドは、自治体・職域それぞれを対象にモデル事業説明会を開催し参加自治体・事業所等を募った。

### 自治体における歯科健診等のモデル事業の実施パターン

#### パターン1

##### 歯科健診の新設、拡充 6自治体参加

本モデル事業を通して、**歯科健診を新たに実施、対象年齢を拡大するなど、今後の事業化に向けた事前検証**

#### パターン2

##### 簡易な歯科検査等の実施 20自治体参加

簡易な歯科検査等を活用した**歯科口腔保健への関心づくり、ハイリスク者のスクリーニング**について、本モデル事業を通して、**実施方法等を把握し、実施可能性を検証**

#### パターン3

##### ターゲットを絞った、受診勧奨等の実施 13自治体参加

「**糖尿病患者で一定期間歯科受診歴がない患者**」の抽出等、**レセプト等のデータを活用した、より効果的・効率的な受診勧奨の方法を検証**

### 職域における簡易な歯科検査等のモデル事業の実施パターン

#### パターンⅠ

##### 一般健診同時実施 24団体参加

一般健診等の会場で**歯周病リスク検査キットを配布**またはその場で**実施し、簡易なリスクチェックを行う実施方法等を把握し、実施可能性を検証**

#### パターンⅡ

##### 地域職域連携による歯科口腔保健活動 50団体参加

自社で歯科健診の機会を設けることができない**歯科健診未実施企業において、事業所が所在する自治体の歯周疾患検診等の受診勧奨を従業員に行い、連携の可能性を検証**

#### パターンⅢ

##### 自宅でリスクチェックを実施 20団体参加

自社で歯科健診の機会を設けることができない**歯科健診未実施企業において、歯周病リスク検査キットを配布し、自宅で検査を行う実施方法等を把握し、実施可能性を検証**

### ご協力メリット

- ① 無料かつ手間少なく従業員（被保険者）に歯と歯ぐきのチェックの機会を提供
- ② 継続的な口腔ケアや歯科医院の受診により、全身疾患・重症化を予防
- ③ 参加者（全体）の意識変容・行動変容効果等をフィードバック